

# MICRO CADAM Helix Webセミナー

## メニュー・バー操作解説 [図面] 編

株式会社CAD SOLUTIONS  
営業本部

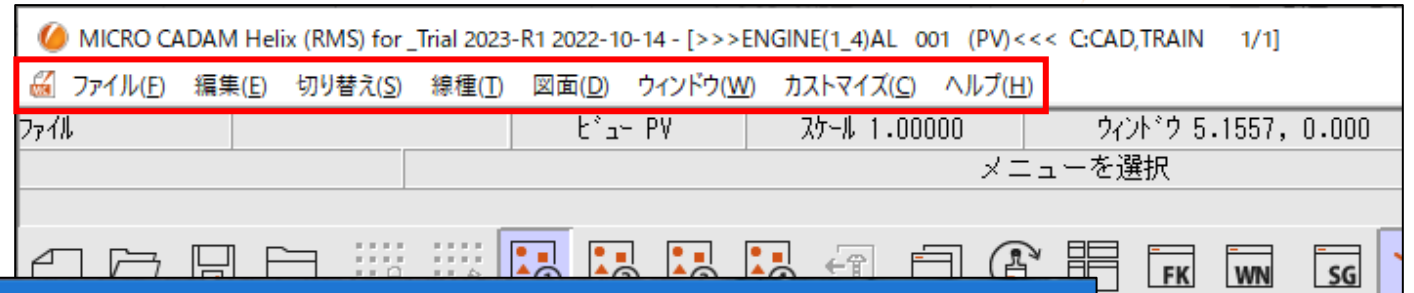
はじめに

---

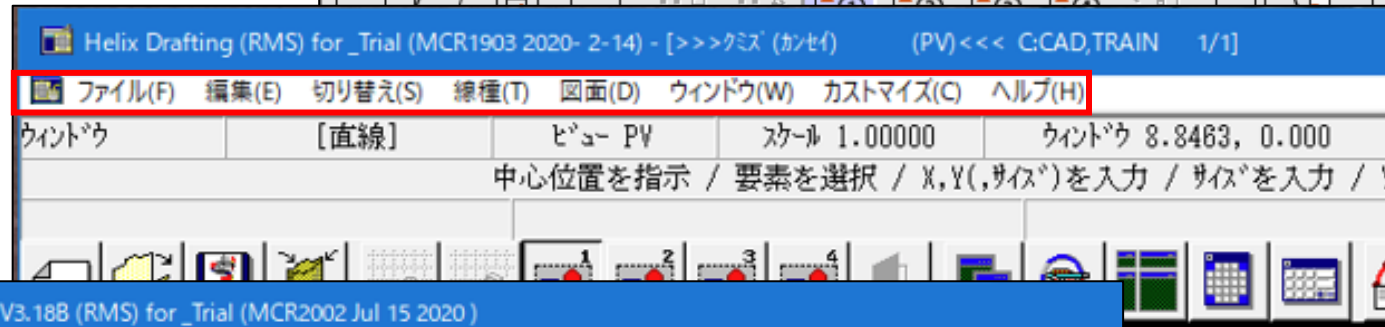
- メニュー・バーとは、ファンクション/メニューの機能を補完するためにMC V3以降に追加されたツールセットで、これまでに多くの機能拡張を行ってきました。

## バージョン別のメニュー・バー表示

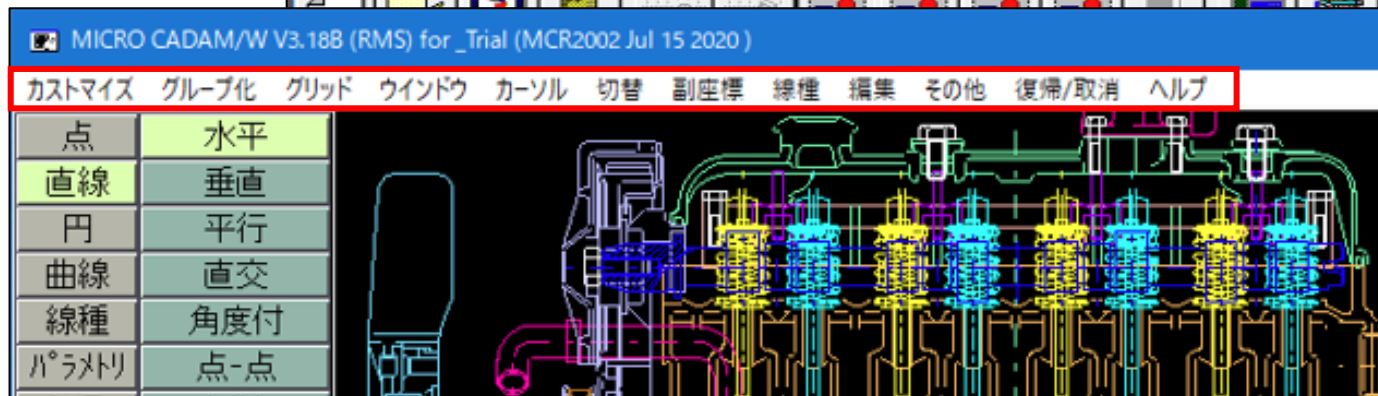
MC Helix 20xx

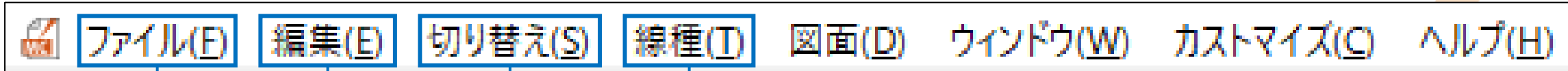


MC Helix V4



MC V3





新規作成(S)  
 呼び出し(A)...  
 上書き保存(V) / DXFファイルの上書き(Y) ★  
 名前を付けて保存(E)... / DXFファイルの別名保存(E)... ★  
 すべて保存(L)  
 閉じる(C)  
 すべて閉じる(O)  
 カプセル化図面呼び出し(P)...  
 画面印刷(E)  
 印刷の設定(T)...  
 印刷(I)  
 簡易出力(Y)...  
 PDF形式で保存(B) ★  
 DXF形式変換(M) ▶ MC->DXF変換(L) ★  
 DXF->MC変換(N)  
 ログオフ(G)  
 終了(X)

★印の付いた機能を使用するには、ライセンスが必要です。

図形複写(ビットマップ)(B) ▶ クリップボード(カラー)(C)...  
 クリップボード(モノ)(L)...  
 ファイル(カラー)(F)...  
 ファイル(モノ)(M)...  
 図形複写(メタファイル)(M) ▶ クリップボード(カラー)(C)...  
 クリップボード(モノ)(L)...  
 ファイル(カラー)(F)...  
 ファイル(モノ)(M)...  
 注記貼り付け(N)  
 元に戻す(D)  
 やり直す(R)  
 テキストを元に戻す(U) Ctrl+Z  
 切り取り(T) Ctrl+X  
 コピー(C) Ctrl+C  
 貼り付け(P) Ctrl+V  
 削除(E) 削除  
 文字列の検索(S)...  
 図形の検索(A)...  
 ハイパーリンク(H)...  
 オブジェクト(O)...  
 リンク(L)...

グリッド・ロック(G)  
 グリッド表示(S)  
 グループ1組(1)...  
 グループ2組(2)...  
 グループ3組(3)...  
 グループ4組(4)...  
 部品(B) ▶ 階層(T)...  
 トップ(T)...  
 親(U)  
 子(D)  
 次(N)  
 前(P)  
 解除(E)  
 解除確認(C)  
 子図(D)...  
 ビュー(V)  
 非現行ビュー色(N) ▶ 設定(S)  
 解除(C)  
 オーバーレイ(O)  
 副座標(B)...  
 レイヤー(Y)...  
 オーバーレイ・レイヤー(L)  
 グローバル変形(B)  
 文字コード(C) ▶ 自動(A)...  
 日本語(J)...  
 中国語(C)  
 台湾語(T)  
 韓国語(K)  
 ラテン文字1(1)  
 ラテン文字2(2)  
 キリル文字(Y)

線種1(1)...  
 線種2(2)...  
 ペン(P)...  
 カラー(C)...  
 無指定色(D)  
 システム・カラー(S)...  
 線幅(W)...  
 線幅解除(O)  
 継承モード(I)...



- ウィンドウ複写(W)
- 子図ウィンドウを開じる(O)
- 状態保存(S)
- 状態復元(L)
- 自動状態保存(U)
- 再表示(P)
- 図面の再表示(D)
- 全図面の再表示(A)
- 重複表示(S)
- 重複要素の確認(O)
- 表示範囲の変更(R)...
- 拡大表示(Z)...

**今回解説する範囲**



- タイル・キープ表示(K)
- タイル表示(T)
- カスケード表示(O)
- アイコン整列(A)
- 標準サイズ(O)
- ファンクション・ボックス(F)...
- スマートガイド・ボックス(S)...
- <ウィンドウ>ボックス(W)...
- メッセージ・ボックス(M)...
- レイヤー・ボックス(L)...
- 変数ボックス(V)...
- 線種ボックス(Y)...
- 1 >>>
- .
- ・ (図面ウィンドウのリスト)
- .
- 9

- カーソル(C)
  - ▶ 十字(C)
  - ▶ 全画面(F)
  - ▶ 小十字(S)
  - ▶ 矢印(A)
  - ▶ 小四角(Q)
  - ▶ プラットフォーム(P)
- マウス(M)...
- キーボード(K)...
- 図面選択(W)
  - ▶ シングルクリック(S)
  - ▶ ダブルクリック(D)
- スマートガイド(G)
- スマートハイライト(H)
- スマートストレッチ(S)
- スマートアシスト(A)
- スマートメニュー(P)
- ラバーバンド表示(B)
- 座標値表示(O)
- 配置子図要素選択(I)
- ファンクション(F)...
- メニュー(N)...
- メッセージ(E)...
- 図面ウィンドウ(D)...
- New Look(J)...
- 文字入力方法(T)
  - ▶ 間接入力(T)
  - ▶ 同時入力(D)
  - ▶ 直接入力(Q)
  - ▶ 入力域(K)
- 環境設定再読み込み(L)
- 環境設定ファイル(S)...
- ユーザーボタン定義(B)...
- イベントスタック(V)
  - ▶ 実行(E)...
  - ▶ 直ちに実行(X)
  - ▶ 記録(R)...
- VBコード作成(X)

- オンライン・ヘルプ(O)...
- チュートリアル(T)...
- ヘルプ・ボックス(B)...
- ログ収集(S)...
- 起動状況(I)...
- バージョン情報(A)...

## メニュー・バー [図面] 解説

---

メインメニュー	サブメニュー	解説
① ウィンドウ複製(W)		アクティブ・ウィンドウと同じウィンドウをもう1つ作ります (ツールバー  と同じ機能です)
子図ウィンドウを閉じる(C)		表示されている図面のすべての子図ウィンドウを閉じます
状態保存(S)		図面ウィンドウの表示状態を一時的に保存します ●表示状態は1つだけ保存でき、保存するたびに更新されます
② 状態復元(L)		[状態保存] で保存した図面ウィンドウの状態を復元します ●カレント表示されている図面だけが復元の対象になります ●復元するとき、タイル・キープ表示の指定は解除されます
③ 自動状態保存(U)		図面ウィンドウの表示状態を、“状態保存ファイル”に自動的に保存します ●2Dモジュールをログオフする際に“状態保存ファイル”が作成され、図面ウィンドウの表示状態が自動的に保存されます ●1つの図面に対して最大10個の図面ウィンドウの状態を保存できます ●状態保存ファイルは、ログオンしたユーザーIDに拡張子「QUE」を付けたファイル名で作成されます (例) C:¥MCADAM¥USER01.QUE
再表示(P) (注)		アクティブ・ウィンドウを表示し直します (リペイント) (ツールバー  と同じ機能です)
図面の再表示(D) (注)		編集集中の図面を表示しているすべてのウィンドウをリペイントします
全図面の再表示(A) (注)		すべての図面をリペイントします

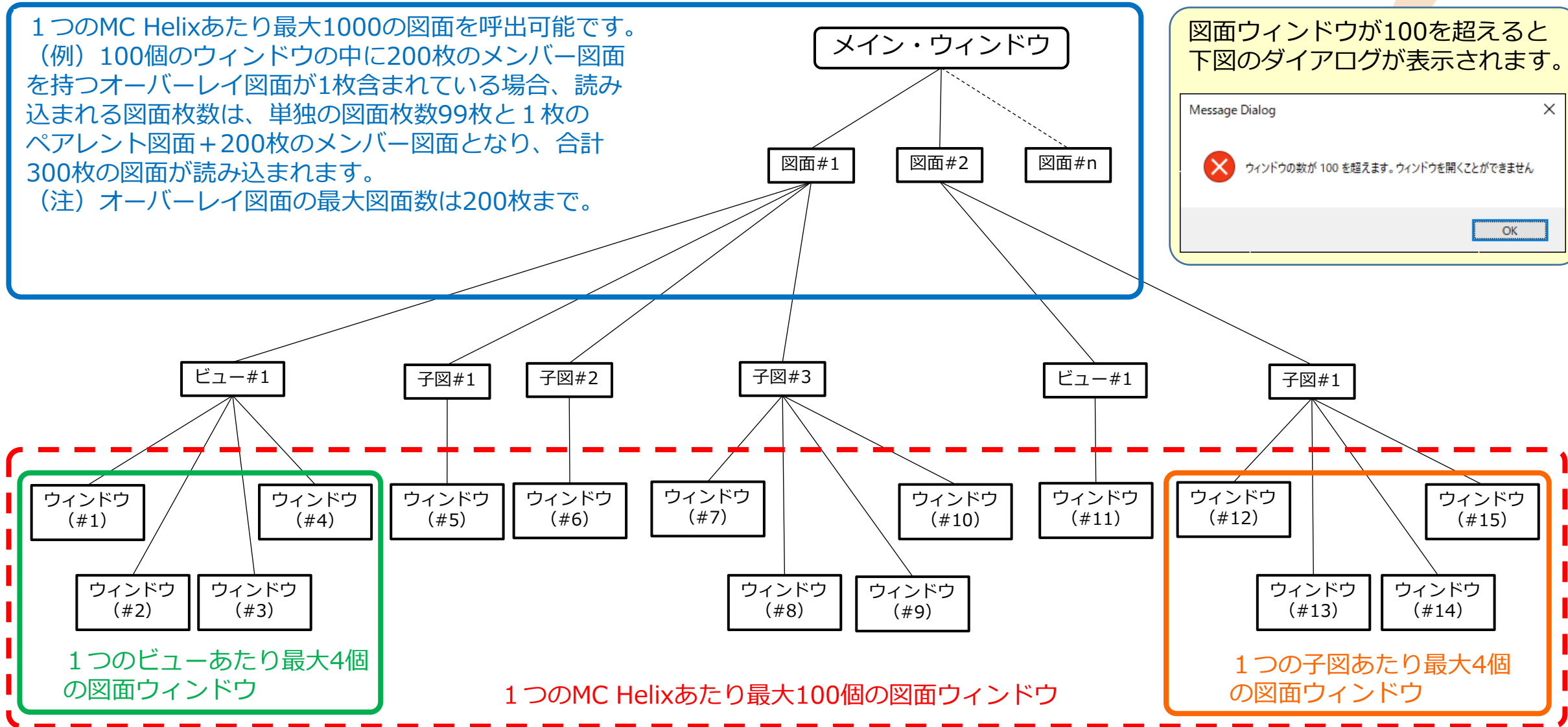
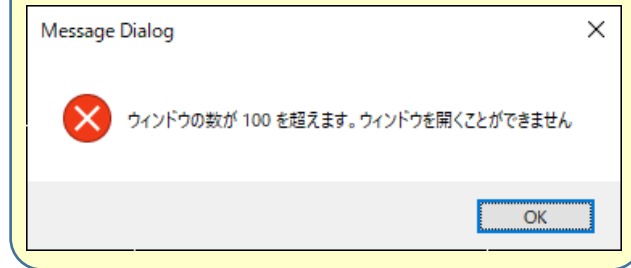
(注) 重複または接している個所は、要素が存在するにも関わらず消去によって見えない状態になります。このような場合、リペイントすることで要素を表示します。

メインメニュー	サブメニュー	解説	
重複表示(S)		表示が重複している直線および円（弧）を消去または修正した後、リペイントするかしないかを指定します <ul style="list-style-type: none"> <li>●直線と直線が重複している 場合</li> <li>●直線と円（弧）が接している場合</li> <li>●円（弧）と円（弧）が重複、または接している場合</li> </ul>	
④ 重複要素の確認(O)		重複した要素は強調色で表示されます <ファイル> 【消去】で重複要素を選択すると、削除と同時にリペイントします <ul style="list-style-type: none"> <li>●強調表示はリペイントおよびウィンドウ操作などを行うと解除されます</li> <li>●文字要素については、環境設定ファイル「MCADAM5.SYS」で「<input type="checkbox"/>文字を重複要素の確認の対象にする」の設定により重複部分の確認ができます（True Typeフォントは対象外です）</li> </ul>	
⑤ 表示範囲の変更(R)...		アクティブ・ウィンドウに表示されている図面の表示範囲を変更します <ul style="list-style-type: none"> <li>● [表示範囲の変更] を選択すると図面全体が表示されます</li> <li>●現在の表示範囲には点線の枠で強調表示されます</li> <li>●要素を選択すると、選択した位置が画面中央に表示されます</li> <li>●対角の2点をインディケートすると、その範囲が表示されます</li> </ul>	
拡大表示(Z)...		アクティブ・ウィンドウの図面を拡大表示します その際、指定した拡大範囲の表示を別のウィンドウに表示させることもできます	




1つのMC Helixあたり最大1000の図面を呼出可能です。  
 (例) 100個のウィンドウの中に200枚のメンバー図面を持つオーバーレイ図面が1枚含まれている場合、読み込まれる図面枚数は、単独の図面枚数99枚と1枚のペアレント図面+200枚のメンバー図面となり、合計300枚の図面が読み込まれます。  
 (注) オーバーレイ図面の最大図面数は200枚まで。

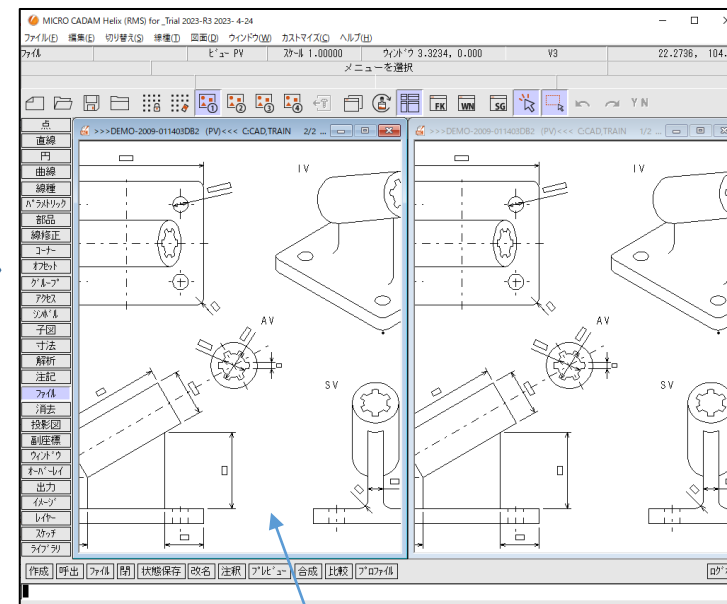
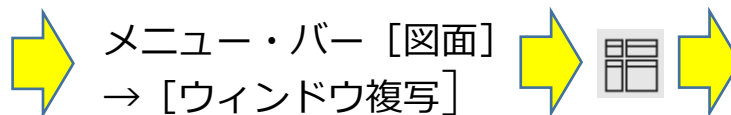
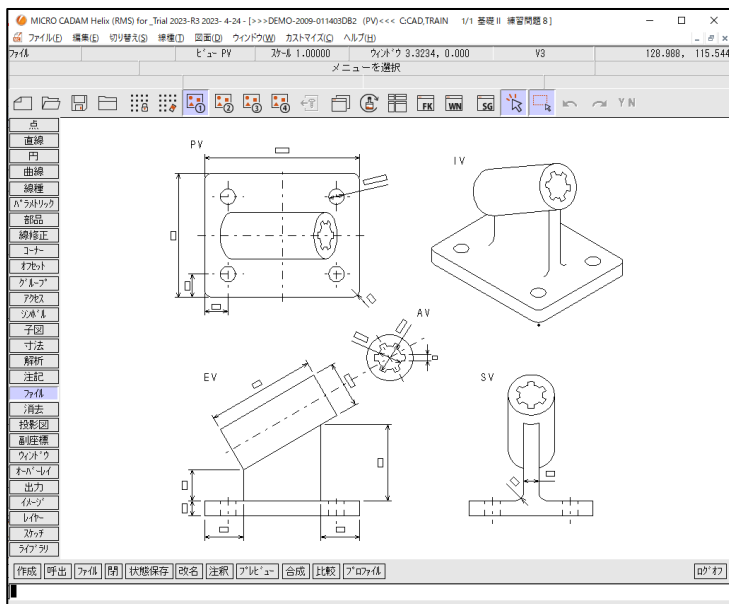
図面ウィンドウが100を超えると下図のダイアログが表示されます。



# メニュー解説① (1/2) : ウィンドウ複写

## ● ウィンドウ複写

- アクティブ・ウィンドウと同じウィンドウをもう1つ作ります。
- 新たなウィンドウはツール・バー [タイル・キープ表示  ] などで表示できます。



複製されたウィンドウがアクティブになります。

# メニュー解説① (2/2) : 子図ウィンドウを閉じる

## ● 子図ウィンドウを閉じる

- 作業中の図面のすべての子図ウィンドウを閉じます。

子図 1 (作業中)

子図 1 (作業中)

メニュー・バー [図面]  
→ [子図ウィンドウを閉じる]

子図 2

子図 3

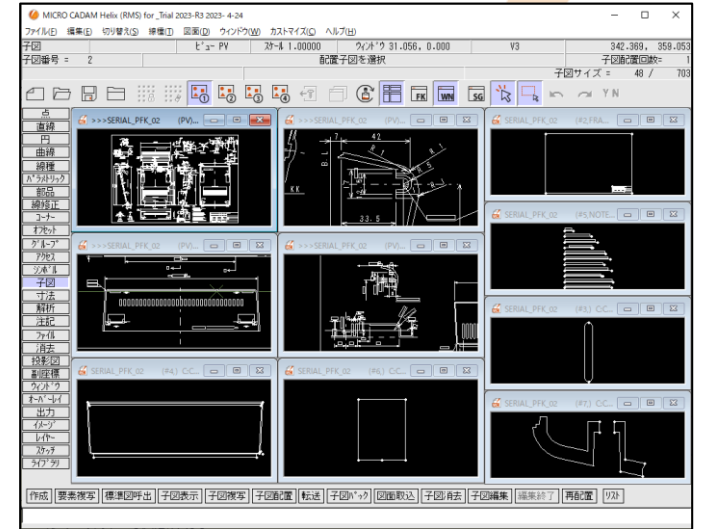
子図 4

## メニュー解説②：状態保存／状態復元


### ● 状態保存

- 図面ウィンドウの表示状態を一時的に保存します。
  - ✓ 表示状態は1つだけ保存でき、保存するたびに更新されます。
  - ✓ 1つの図面に対して最大10個の図面ウィンドウの状態を保存できます。

(注) 11個の図面ウィンドウ表示状態で状態保存して状態復元すると、ウィンドウ番号11/11の図面ウィンドウの表示部分が欠落した形で再表示されます。ビューを表示するウィンドウの番号は表示順に関係なく #1～#4になりますので、#11以降は子図面ウィンドウの表示が欠落することになります。



### ● 状態復元

- [状態保存] で保存した図面ウィンドウの状態を復元します。
  - ✓ [状態保存] の時に表示されていた図面を、その後の操作でクローズし、[状態復元] を行うとクローズした図面は表示されません。
  - ✓ 復元するとき、タイル・キープ表示  の指定は解除されます。

#### 【参考】状態保存機能について

- メニュー・バー [状態保存]  
あくまでも現在表示されている図面の状態を保存するための機能です。MC Helixが起動している間だけ有効な機能です。
- <ファイル> 【状態保存】  
ウィンドウの終了状態をQUEファイルに保存し、MC Helix起動時に前回終了した際のウィンドウ表示状態を復元できます。  
メニュー・バー [自動状態保存] がONの場合：MC Helixをログオフ、または終了する際に自動で表示状態を保存します。  
メニュー・バー [自動状態保存] がOFFの場合：<ファイル> 【状態保存】 を実行しないと最終的な状態は保存されません。

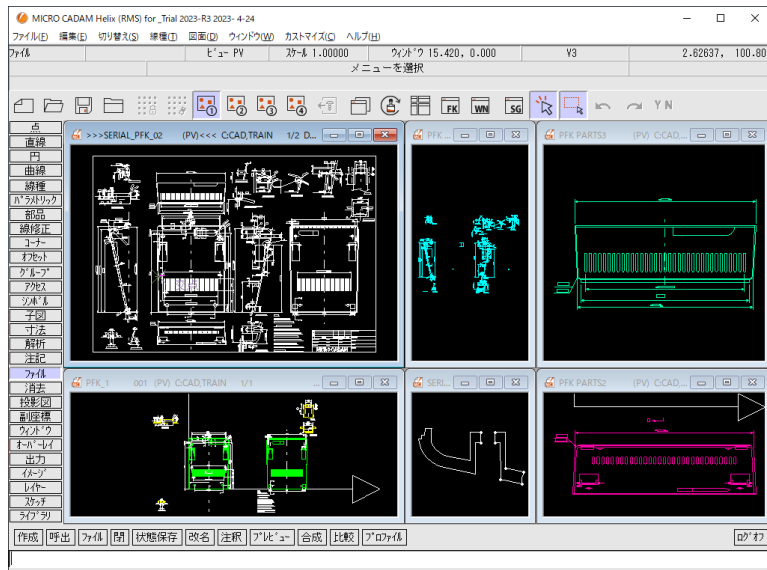
## ● 自動状態保存

- 図面ウィンドウの表示状態を、“状態保存ファイル”に自動的に保存します。
  - ✓ MC Helixをログオフ、または終了する際に“状態保存ファイル”が作成され、図面ウィンドウの表示状態が自動的に保存されます。
  - ✓ 1つの図面に対して最大10個の図面ウィンドウの状態を保存できます。
  - ✓ 状態保存ファイルは、ログオンしたユーザーIDに拡張子「QUE」を付けたファイル名で作成されます。

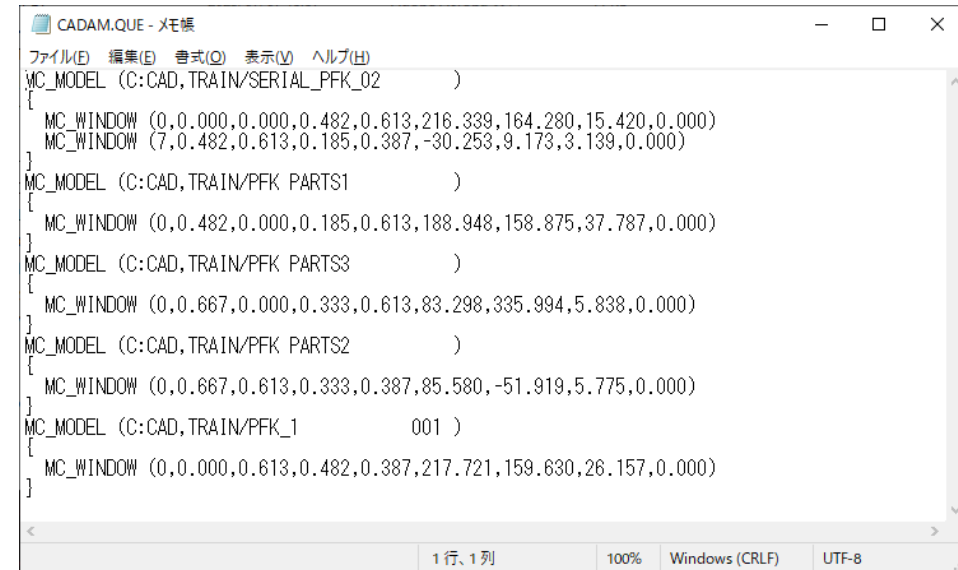
(例) C:¥MCADAM¥CADAM.QUE

- 保存した状態で作図を再開する場合は、ファンクション<ファイル>【状態保存】→【復元】でQUEファイルを呼び出します。

自動保存した画面



保存されたQUEファイルの内容



## メニュー解説④：重複表示／重複要素の確認

### ● 重複表示

- 表示が重複している直線および円（弧）を消去または修正した後、リペイントするかしないかを指定します。
- [☑重複表示] の場合、消去後にリペイントします。
- リペイントの対象は以下の要素です。
  - ✓ 線と直線が重複している 場合
  - ✓ 直線と円（弧）が接している場合
  - ✓ 円（弧）と円（弧）が重複、または接している場合

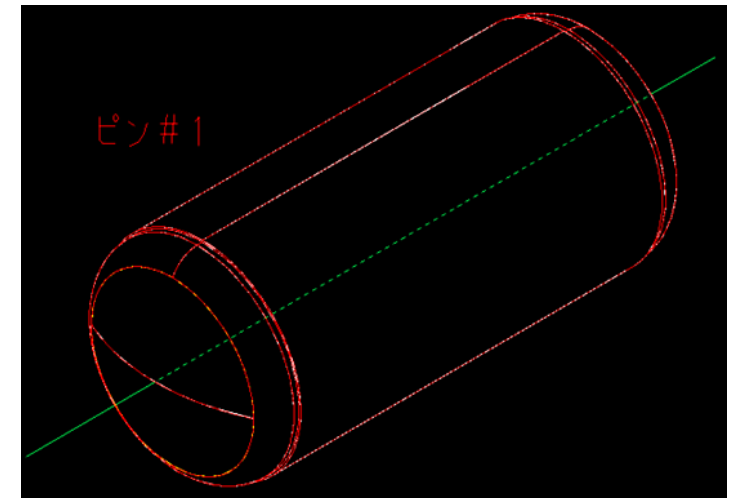
(注) 寸法表記に含まれる直線、円（弧）も対象になります。  
グループで処理する場合は指定にかかわらずリペイントしません。

### ● 重複要素の確認

- 重複した要素が強調色で表示されます。
  - ✓ 強調表示はリペイントおよびウィンドウ操作などを行うと解除されます。
  - ✓ 文字要素については、環境設定ファイル「MCADAM5.SYS」で「☑文字を重複要素の確認の対象にする」の設定設定により重複部分の確認ができます（True Typeフォントは対象外です）。

ファンクション<消去>【消去】で重複要素を選択すると削除と同時にリペイントします。

重複要素の強調色表示



# メニュー解説⑤ (1/2) : 表示範囲の変更

## ● 表示範囲の変更

- アクティブ・ウィンドウに表示されている図面の表示範囲を変更します。
- [表示範囲の変更] を選択すると、一度図面全体が表示され、ダイアログが表示されます。

元の画面表示に戻ります

表示範囲の変更

要素を選択 / 対角の点を指示 / YN で中断

キャンセル

マウスで選択

選択した位置が画面中央に表示されます

マウスで指示

表示範囲の変更

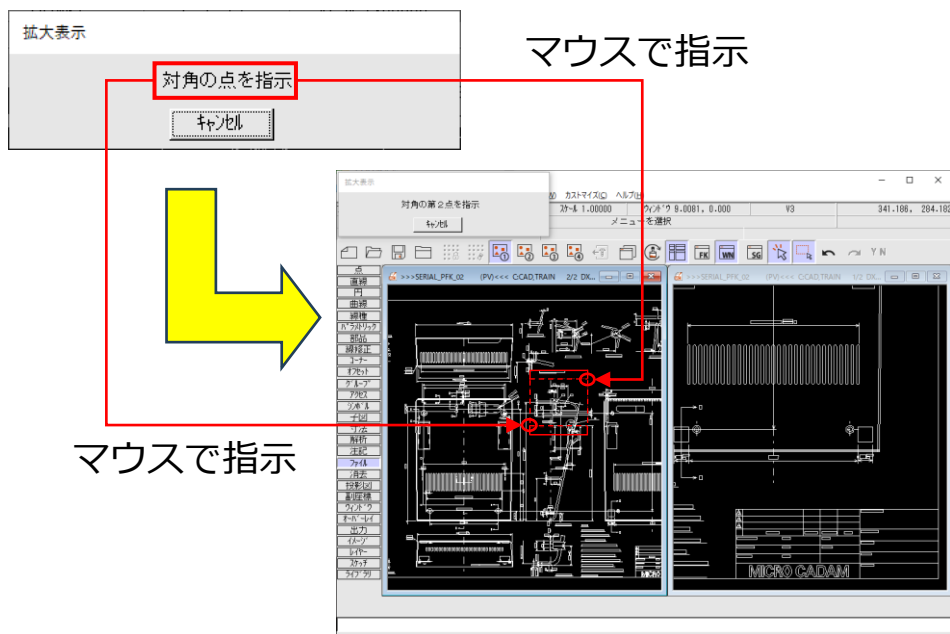
要素を選択 / 対角の点を指示 / YN で中断

キャンセル

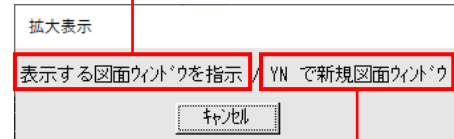
指示した範囲が表示されます

## ● 拡大表示

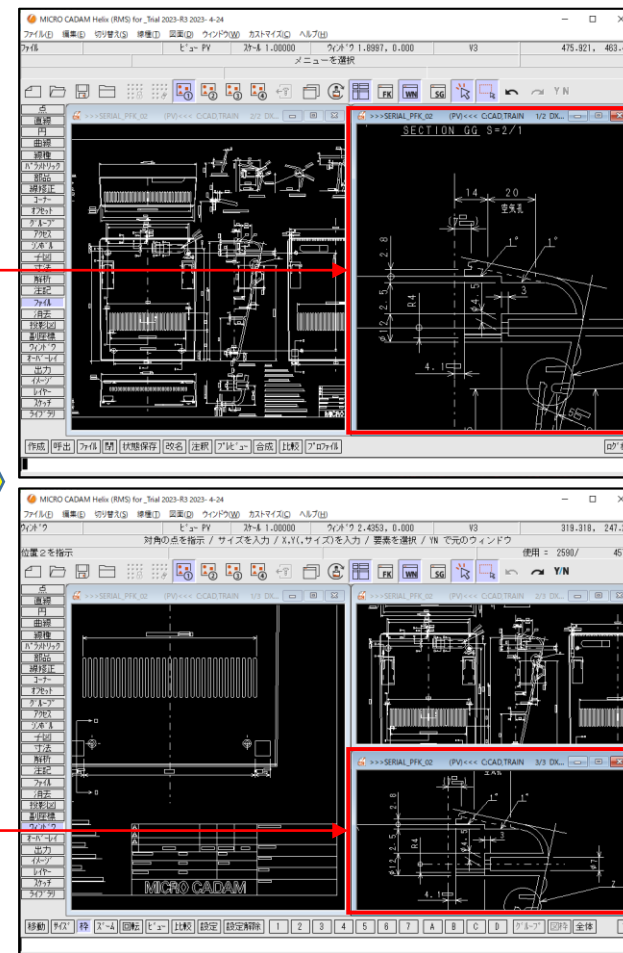
- アクティブ・ウィンドウの図面を拡大表示します。
- 指定した拡大範囲の表示を別のウィンドウに表示させることもできます。(右下図)
  - ✓ 表示する図面ウィンドウを指示：既存のウィンドウに表示します。
  - ✓ YNで新規図面ウィンドウ：新しい図面ウィンドウに表示します。



既存図面に置き換わって表示される



新しくウィンドウが作成される



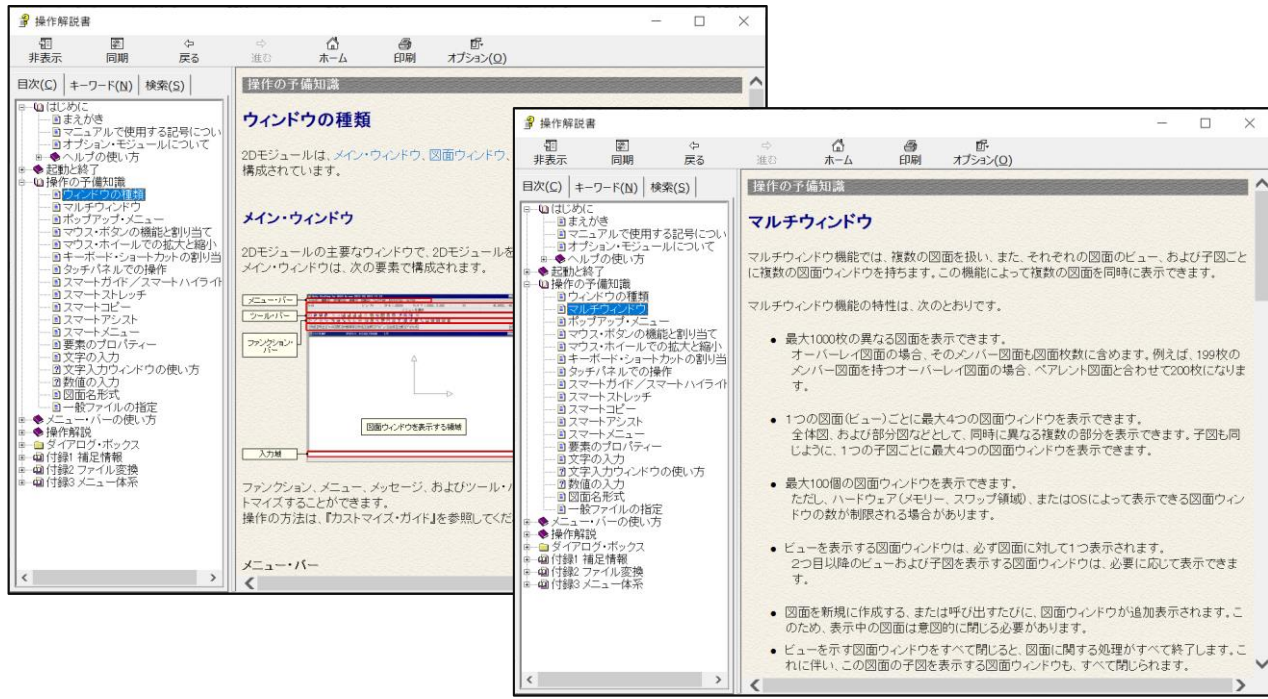
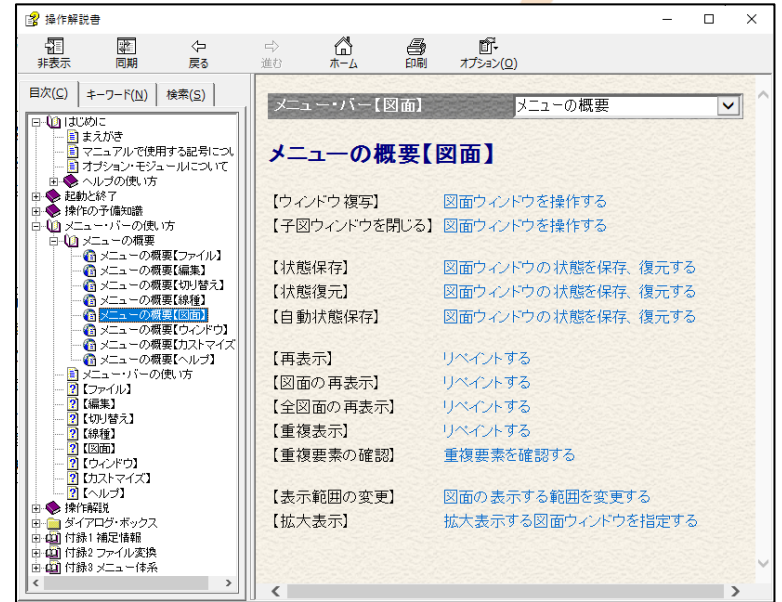


# まとめ：メニュー・バー [図面]

詳細につきましては下記の内容も合わせてご利用ください。

## ● 参照マニュアル

- Windows [スタート] → [MICRO CADAM Helix] → 「操作解説書」 → メニュー・バーの使い方 → メニューの概要 → **メニューの概要【図面】**
- Windows [スタート] → [MICRO CADAM Helix] → 「操作解説書」 → 操作の予備知識 → ウィンドウの種類 → 操作の予備知識 → マルチウィンドウ





MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。  
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。